

令和7年6月24日(火)
見附市地域公共交通活性化協議会

令和 6 年度事業報告



1. コミュニティバス

(1) 利用実績



利用者実績 (189,855人)

- 対前年度比 **98.9%**
- 全体収支率 **17.7%**
- 運行本数 **69便 (R6.4~R7.3月)** (Aルート27便、Bルート34便、B2ルート7便、おはようライナー1便)

	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	対前年比
全体 (人)	160,381人	165,843人	170,454人	191,850人	189,855人	98.9%
収支 (%)	16.7	17.1	17.9	18.6	17.7	
バス台数	7台	7台	7台	7台	7台	

利用人数は前年より微減したが、前年度と比較し土曜日の運行本数を減少させている (69便⇒51便) ことから効率的なダイヤ削減を行うことができたものと考える。収支率の低下は、人件費の増による運行経費の増加によるもの。

①停留所の利用状況 (利用ベスト4)

車庫発 (乗車)	1日平均 利用者数	車庫発 (降車)	1日平均 利用者数
①見附駅	41.1人	①見附駅	54.1人
②バス車庫	27.4人	②パティオ	26.2人
③本町十字路	24.1人	③中部産業団地	18.0人
④新町3丁目	18.5人	④産業団地・EG	14.8人

パティオ発 (乗車)	1日平均 利用者数	パティオ発 (降車)	1日平均 利用者数
①見附駅	71.0人	①見附駅	37.0人
②パティオ	20.5人	②新町3丁目	26.0人
③中部産業団地	16.8人	③コミバス車庫	21.6人
④新町3丁目	16.0人	④ほっとぴあ前	20.1人

利用傾向に大きな変化はなく、主な利用は通勤及び通学目的で産業団地や見附駅に移動するための利用が多い。次点として本町十字路や新町3丁目の、商業施設や通院目的での利用やほっとぴあ等で、高齢者の利用と想定。

1. コミュニティバス

(2) 利用状況～利用時間の傾向について～

①利用されている便 ※R6年度の利用状況から

車庫発便	1日平均利用	パティオ発便	1日平均利用
①7:28発 (B)	17.2人	①16:50発 (B)	16.7人
②7:08発 (B)	17.1人	②17:16発 (B2)	14.7人
③8:58発 (B)	16.1人	③10:35発 (B)	14.5人
④9:28発 (B)	12.9人	④15:30発 (B)	14.2人

※車庫発便を使用したと思われる人が帰りに使用する時間がパティオ発では多く、使用者としては見附市街地側の方が多いと思われる。

例年の利用傾向と変化はなく、利用されるバス停状況と同様に、通勤通学の時間帯での利用が主になる。
9時～11台に新町や商店街、病院といった利用が増加。

②利用されていない便 ※R6年度の利用状況から

車庫発便	1日平均利用	パティオ発便	1日平均利用
①19:30発 (A)	1.2人	①16:40発 (A)	1.0人
②18:58発 (B)	1.9人	②20:15発 (A)	1.6人
③15:55発 (A)	2.1人	③9:00発 (B)	1.8人
④6:20発 (A)	2.9人	④19:50発 (A)	3.1人

※全時間帯を通して、緑町や市野坪、今町の住宅地を経由するB、B2ルートの方がAルートより利用者数が多い。

これまで16時台の乗車が少ないことはあまりなかった。考えられる理由としては、10分後にBルートの便があり、利用されていることから、利用が分散せずに偏ったものと想定。
その他については、遅い時間もしくは早い時間が移動する人口が少ないとから利用されづらくなっている。

1. コミュニティバス

(3) 取組み内容 ～より「便利な」バスを目指して～

(1) 利用サービス

- ・1回100円で乗車（料金のわかりやすさ）
- ・1日券200円（1日の市内移動の足として）
- ・時刻表全世帯、企業・医院・飲食店へ配布
- ・免許返納証明書、子育て応援カード
- ・定期券販売⇒市のサービスを受けられない市外からの通学・通勤者を対象
- ・令和5年7月より市内中学生以下の運賃を無料化



(2) アクセス状況の改善のために

・バスナビゲーションシステム

令和5年10月より「バス予報」を導入

バスの位置情報、バス停までの到着時間をPC、スマホで確認

システム変更により地図上で視覚化

・JRとのアクセス運行間隔26分台（朝夕は20分間隔）

・システム改修に併せてGTFSデータも整備し、公開



中学生以下無料券

2. デマンド型乗合タクシー

(1) 実績

利用者実績3,557人

- ・対前年度比 **98.3%**
- ・全体収支率 **12.4%**
- ・運行本数 **14便 (各地区7往復)**



利用者数	R04年度	R05年度	R06年度	対前年比
全体	3,945	3,618	3,557	98.3%
①今町田園ルート	725	775	655	84.5%
②新潟地区ルート	1,069	1,039	951	91.5%
③葛巻地区ルート	93	89	80	89.9%
④元町1ルート	450	225	322	143.1%
⑤牛ヶ嶺ルート	116	143	196	123.3%
⑥杉澤ルート	1,492	1,347	1,353	100.4%
収支率 (%)	14.6	13.0	12.4	
1便乗車率	1.24人	1.22人	1.17人	

- ・市全体としての利用は、昨年とほぼ横ばいだった。
- ・各地区単位では、**極端**に利用が落ちた地区は無いが、利用者の平均年齢が上がって来ていることから、利用は徐々に減少していくものと推測される。
- ・全体収支率悪化の原因としては、前年11月よりタクシー運賃が値上がりしたことによる運行経費の増加が大きいが、1便当たりの乗車率が低下してきていることも要因と考えられる。



- ①今町田園地区：下関町・三林町・田之尻町・坂井町・釈迦塚町
- ②新潟地区：白銀町・東町・四ツ屋町・松ノ木町・西の上町町・西の下町・千刈町・指出町・小栗山町・下鳥町・片桐町・美里町・戸代新田町
- ③葛巻：青木町・反田町・北野町・山吉町・速水町・加坪川町・漆山町
- ④元町1：元町1・島切溝町・右地町・西山町・町屋町
- ⑤牛ヶ嶺：牛ヶ嶺町・宮之原町・河野町・明晶町
- ⑥杉澤：杉澤町・池之島町・堀溝町・【長岡市文納】

3. レンタサイクル

(1) 状況と実績

利用者実績（313人）※4～7月までの実績

- 年度別の各施設の貸出状況（R04年～R06年）

貸し借りの負担軽減、利用時間の拡大を目的にPiPPAをR3から本格導入したが、

R6.8.31でPiPPAが営業を終了。



	ステーション/ 貸出回数（回）	R04年度	R05年度	R06年度	対前年比
P i P P A	ネーブルみつけ	63	127	18	14%
	見附駅	380	331	104	31%
	今町公民館	31	51	21	41%
	中央公民館	95	59	31	52%
	イングリッシュガーデン E G・レアント	141	59	19	32%
	総合体育館	23	17	21	123%
	葛巻ふるさとセンター	5	1	0	0
	図書館	63	73	26	35%
	ノジマ見附店(R4から)	62	40	17	42%
利用回数(日数ベース)		1,187	976	313	32%
【参考】パティオにいがた(PiPPAでない)		138	92		66.6%

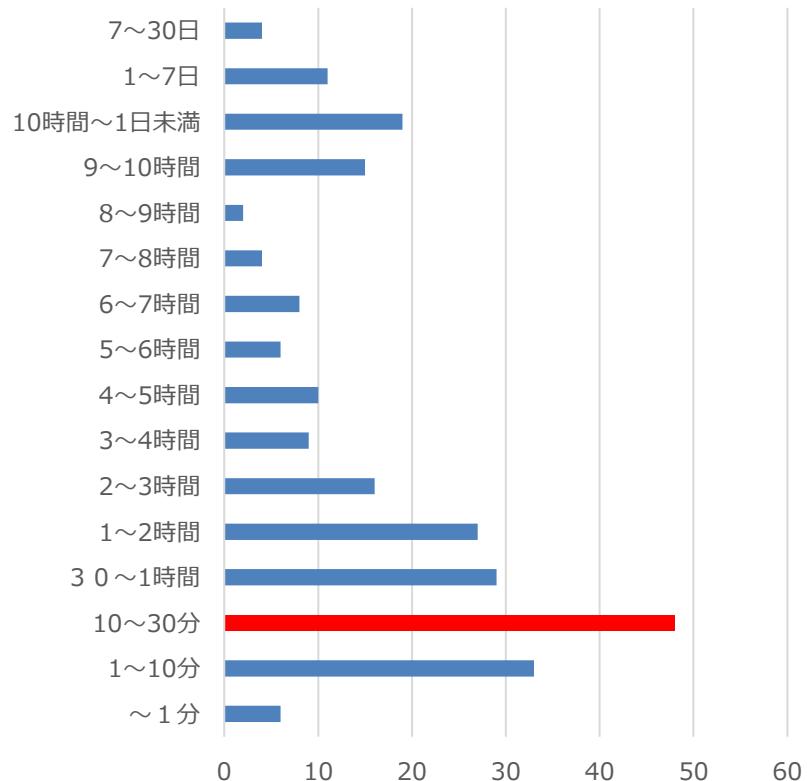
市内公共施設 9箇所(R6.4.1現在)に設置したサイクルポートで貸出・返却。

利用の1/3は駅の利用というところは例年と変わらずだったが、イングリッシュガーデンの利用は落ち込んだ。

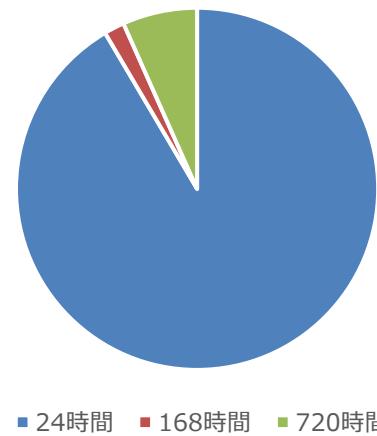
3. レンタサイクル

(2) 利用時間・デイパスの利用状況

利用開始から返却までの時間 (R6)



デイパス 利用割合



デイパス 利用内訳

種類	R6		R5	
	回数	割合	回数	割合
24時間 (1日)	151	91.5%	439	78.1%
168時間 (7日)	3	1.8%	29	5.2%
720時間 (30日)	11	6.7%	94	16.7%

例年と比べ、短時間の利用が占める割合が多く、不具合により長期的な利用が減少したものと思われる。

デイパスについても同様で前年度の利用傾向と比較すると、30日パスの利用がかなり減少しているが、1日パスは一定数使用は見られた。

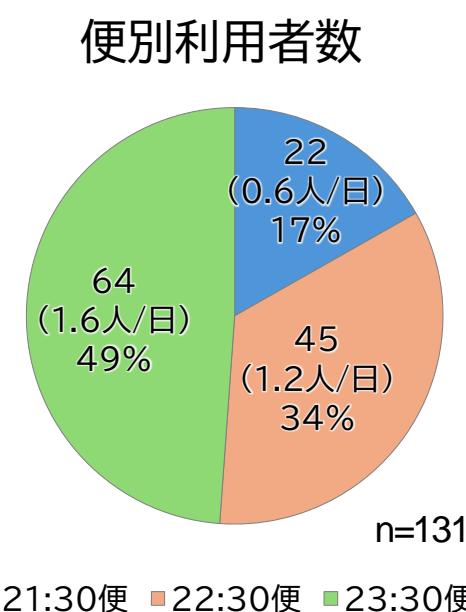
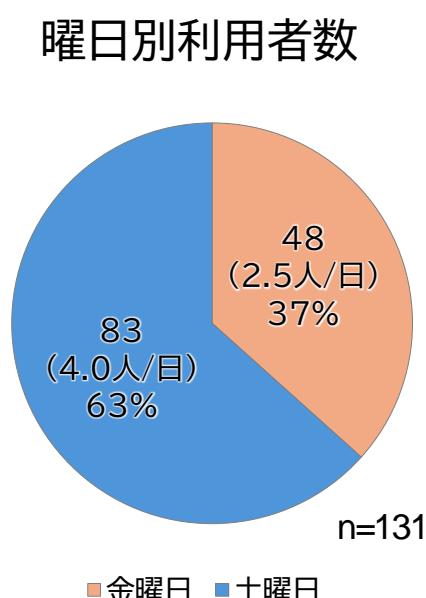
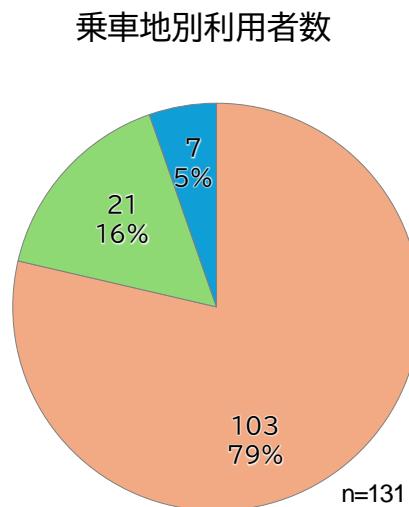
4. 夜間オンデマンドタクシー実証運行

(1) 利用実績

- ・コロナ禍等の影響による夜間タクシーの減少により、地域経済や市民の足の確保に影響が出ているとの声を受け、夜間の公共交通を補完する仕組みとして運行。
- ・10月4日～2月15日までの毎週末（金・土曜日）に1日3便運行
- ・インターネット又は電話で予約し、予約した乗車地から自宅などまで送り届ける。

利用者実績：131名

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
利用者数	18人	27人	49人	28人	9人	131人
〃（/日）	2.25人	2.70人	6.13人	3.11人	2.25人	3.36人



■乗車地
見附駅からの乗車が
103人（79%）で最も
多かった。
⇒見附駅からの移動需
要に一定の寄与

■乗車曜日、時間
曜日は土曜日が63%
時間は23:30便が約
49%で最も多かった

⇒遅い時間帯利用者
が増える傾向